
クイズ!アステリオス君の勉強日記

yono

暁～小説投稿サイト～ By 肥前のポチ

<http://www.akatsuki-novels.com/>

注意事項

このPDFファイルは「暁く小説投稿サイトく」で掲載中の小説を「暁く小説投稿サイトく」のシステムが自動的にPDF化させたものです。

この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「暁く小説投稿サイトく」を運営する肥前のポチに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

クイズ！アステリオス君の勉強日記

【作者名】

y o n o

【あらすじ】

ここのカルデア唯一の、マスターはクイズ好きでした
とにかく、クイズを出して、蘊蓄を言いたがるので、サーヴァント達は、マッシュを含めて、「あ、クイズ出題したがってる」と察すると、

マスターを避けてしまいます

（それでも、「それなら問題を作れ」とわがままをいうマスターのために、問題を作るあたり、仲よしなんでしょうが）

そんな中、なぜかアステリオスはクイズに答えてくれます

それこそ、話をすることや、知識が増えることがうれしいようです
2人がクイズをしている姿は、このカルデアの名物になっています
(呼び出されたサーヴァントは、まずこの光景を見て何かを察する
そうです)

「ますたー、えうりゅあれ、みたい」

とアステリオスに言われて、マスターは思わずはにかんでしまいま
した

さて、様子を少しのぞいてみましょう

某合同誌でボツを食らった作品です(廃品回収とかいうな)
不定期更新のSSです

小手調べ

さてまずは、クイズというか、ベンきょうとは、どういうものか？
という事を学ぼうという話のようです

問題1：算数の四則演算、 $1+1$ は2ですが、 $1-1$ はいくつでしょう？

答え：0

「まず、手で計算してみようか」

「けいさん？」

「そう、算数というのは何かを計算するものなんだ。他のもあるけど、まずはそこだけ覚えておくといい」

「どう、すればいい？」

アステリオスが聞くと、マスターは言いました

「指を使って数を数えるのさ、こういう具合に」

と、マスターは、指を折ったり、伸ばしたりして、数を数えることを教えました

アステリオスは、指を折ったり、伸ばしたりしながら

「なくなった・・・」

と、不意に、哀しくなりました

まるがつばつにち、きよおはさんすうというものをまなんだ

うーん、アステリオスのトラウマを、思いださせるなにかがあった
みたいですね

でも、その後、

「自分で日記を書いてごらん」

という、マスターからの無茶ぶりを、自分なりに、咀嚼して、一生
懸命かいているのも、アステリオスという人の人柄がうかがえます
ね

よ()やり

問題15：通称「家計」。OPはKOTOKO『同じ空の下で』。天涯孤独の主人公、リストラ中年、密入国者、家出娘等が疑似家族『高屋敷家』に集まることから、物語が展開していく、やまだはじめ山田一シナリオ、2001年にD・C・から発売されたゲームと言えは？

答え：家族計画

アステリオスとマスターは、顔を見合わせました

「きゆうに、へんな、もんだい、になった」

「うん、多分、この問題作った人は…」

と、マスターはいずこかへ連絡することにしました

「もしもし…」

「何用ですか、魔術師殿」

と、連絡に答えたのは、呪腕のハサンでした

「いや、また黒髭とエウリュアレが、喧嘩しそうなんで…」

「またですか、仕方ないですなあ…」

と、ハサンが呆れているのを聞いて、マスターも恐縮してしまいます

「ホントごめんなさい」

「いえいえ、では早速」

「あれ、またかい？」

アレクサンダーは、目の前に、黒髭を背負ったハサンに聞きました

「ああ、誰かと思えば…。本当困ったものだよ」

と、苦笑気味の口調で、ハサンは言います

「エウリュアレ嬢がくる前に、私に処理せよなどと」

「まあ、『誰に断って、わたしのものに！！』て、本当に殺しかねないテンションで怒ってたからね」

「私は便利屋ではないんだがね」

「『そういう』意味で信頼されてるんだよ、暗殺者冥利につきるじゃないか」

「そうだな…」

と2人で話していると、周囲が騒がしくなってきました

「ほら、そろそろ来るよ」

「やれやれ…」

まるがつばつにち、とくにかくことない

問題16：お互いに重ならないように、放射線状に広がっているタ
ンポポなどの葉の状態を、ラテン語の『バラ』に由来する言葉でな
んという？

答え：ロゼット

「…」

「どうした？」

「いや、別になんでもないよ」

（危ない危ない、ハサンさん、ありがとうね）

マスターは心の中で、感謝しました

成長

問題10：中国、三国志の中の話で、呉の魯肅が再会した呂蒙を称賛したことに由来する、学識などがむかしのままで、進歩のない人物をさす言葉といえば？

答え：呉下の阿蒙

「まよえ……さまよえ……しね！」

「流星^{ステラ}一条アアッ！！」

さて、ある日の曜日クエストが、終わった時の話です
アステリオスは、アーラシュと一緒に戦った後

「ふう、お疲れさん」

「うん、おつかれ」

「そういえば……」

「なに？」

「最近、勉強してるんだっけ？」

「うん」

「そうか、顔に出てるものな」

「？」

「今回の、種火集めでも、まず敵を弱体化させてから、俺の流星一条っていう段取りを考えたのは、アステリオス、お前だってマスターに聞いたぜ」

「うん、おもいついた、から、ますたーに、はなした」

「前は、そういう戦略とか考えもせずに、ガムシヤラに敵に挑んでいたろ？」

「うん」

「それを『成長』というのさ」

「せいちょう…」

アステリオスが、腰を下してはにかむと、アーラシュは、肩を叩きました

「そう、努力と根性は裏切らないって、どっかのエライ人もいって
るぜ。がんばったな」

「……………うん」

まるがつばつにち、あーらしゅと、たねびあつめに、いく
いっしょうけんめい、いままでまなんだことを、だすことが、でき
た

みんなに、ほめられた

…うれしい

今日は、じつは、筆者もサポートメンバーとして行きました
アーラシュと何事か話していたので、不思議に思ったら、こういう
事だったようです

学が増えるという喜びは、こういう戦場でも、あるという事をアス
テリオスは学んだようです

思わず雄たけびを上げていましたね、アステリオスは

学ぶ喜び

学ぶ悲しみ

そうやってアステリオスは、今日も成長していくのでしょうか

そんな訳で、なんだかんだ、カルデアは、平穏な1日が過ぎていき
ます

この平穏がいつまでも、続きますように…

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
http://www.akatsuki-novels.com/stories/index/novel_id~18281

クイズ!アステリオス君の勉強日記
2016年10月31日 01時13分発行